

リスクアセスメント講習会

「現場から学ぶリスクアセスメント」

危険をよみ、災害の芽をつむための手法で労働災害の防止に効果的であるリスクアセスメント講習会を令和8年3月2日(月)に瀬尻国有林で開催しました。(静岡県・浜松市・林業事業体等 31名参加)



当日は、林災防静岡県支部安全指導員の今井さんに講師をお願いして、リスクアセスメントの必要性・実習(現場踏査・個人ワーク・グループワーク)・改善という実践に基づくリスクアセスメントの手法等を丁寧に講義をしてもらいました。

リスクアセスメントの必要性

①リスクとアセスメントとは

リスクとは	作業現場の危険性によって生じる、作業者の怪我の「重大さ」と発生する「可能性」のレベル
アセスメントとは	作業現場のリスクを見積り、評価すること

②参加者

	リスクの特定	リスクの見積	措置の検討	措置の決定
チームリーダー	○	○	○	○
チームメンバー	○	○	○	○
プランナー	○	○	○	○
経営管理者	△	△	△	○

③期待される効果

- 作業現場のリスクが明確になる
- リスクを感じる力が養われる
- 安全対策の優先順位が決定できる
- 俗人的な安全対策からチームワークによる安全確保となる
- 残留リスクに対して、『守るべき決め事』の理由が明確になる



皆で見て、話し合っ
決めて
情報を共有する

リスクアセスメント実習

作業範囲	地形	地質	植生	沢	水源
障害物	立木状況	作業基準	アクセス	携帯電波	緊急時対応

天竜森林管理署長 挨拶



講師の今井さん



作業計画(ディスカッション)



急傾斜地域の確認



立木状況の確認



作業道作設箇所の検討



作業道作設時の水処理や安全対策等(沢横断時)

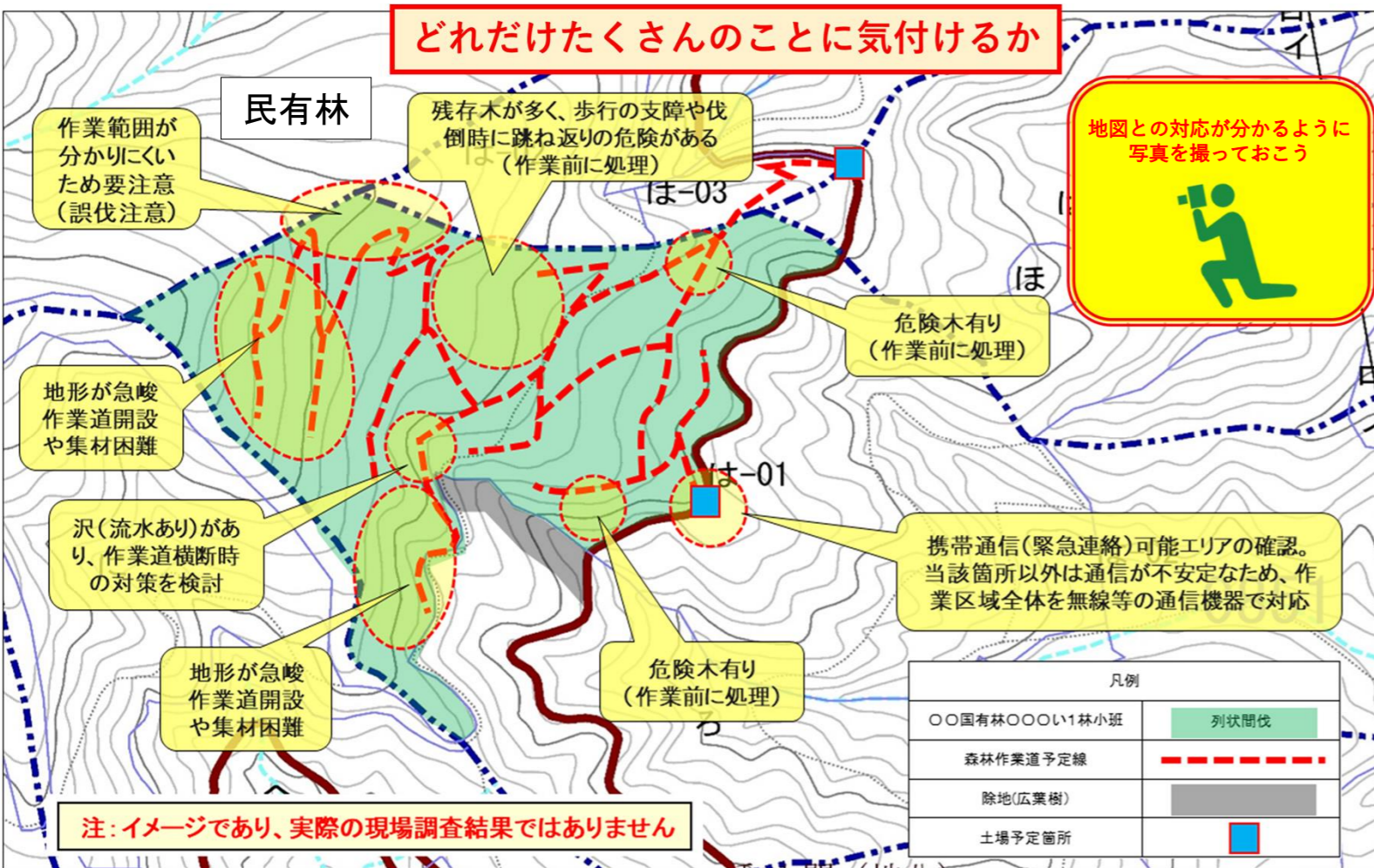


現地踏査内容を整理

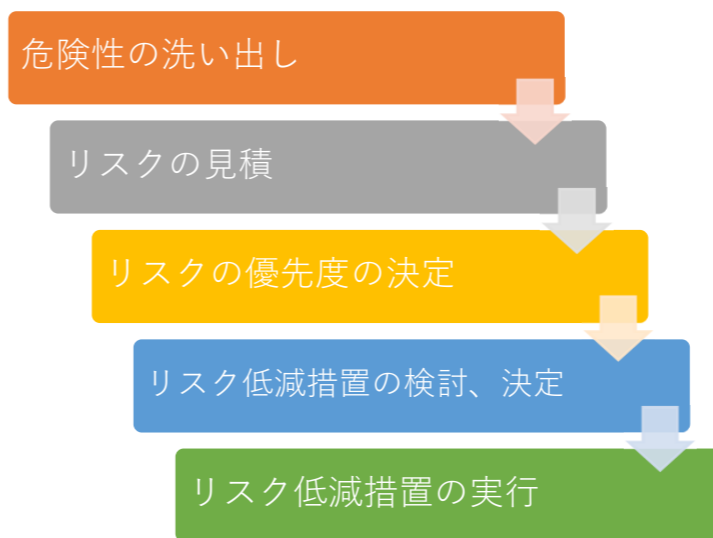
- 【実施プログラム】4グループ(各7人)に分かれて実施
- ① 主旨等の説明
 - ② 現地踏査(危険因子の洗い出し及び作業計画に反映)
 - ③ 個人ワーク及びグループワーク(発表)
 - ④ 意見交換等

リスクアセスメントによる作業条件の改善

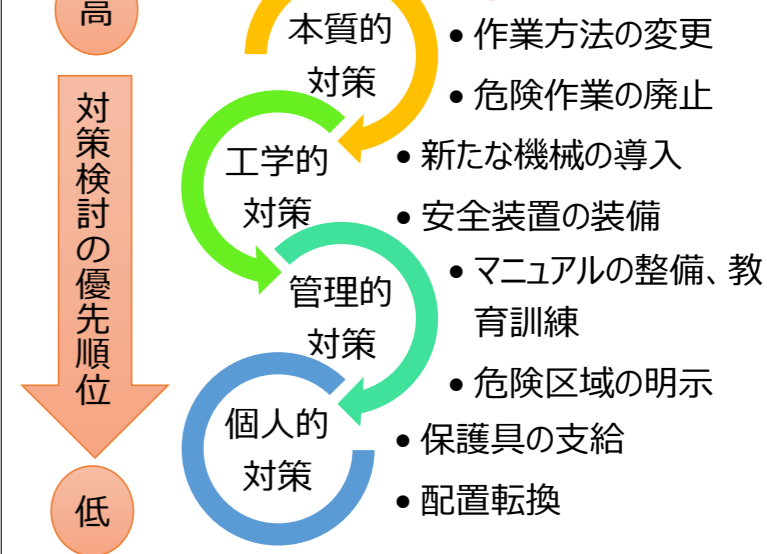
踏査の際に記録を残そう



①手順



②優先順位



③前提要件

- 計画の実行
【具体的な行動計画(いつ、誰が、どこで、何を)】
- 技能訓練
【訓練方法・マニュアル】
- 作業基準
【ルール(安全用具の使用、合図) 規格(伐採・作業道・機資材)】

④活かせる情報を積極的に取得する。

- 情報の収集と周知
 - ヒヤリハット事例
 - 労働災害事例
 - パトロールで指摘された事例
 - 作業者の不安
 - 機械の整備状況

現地踏査の整理及びリスク評価 (個人ワーク・グループワーク)

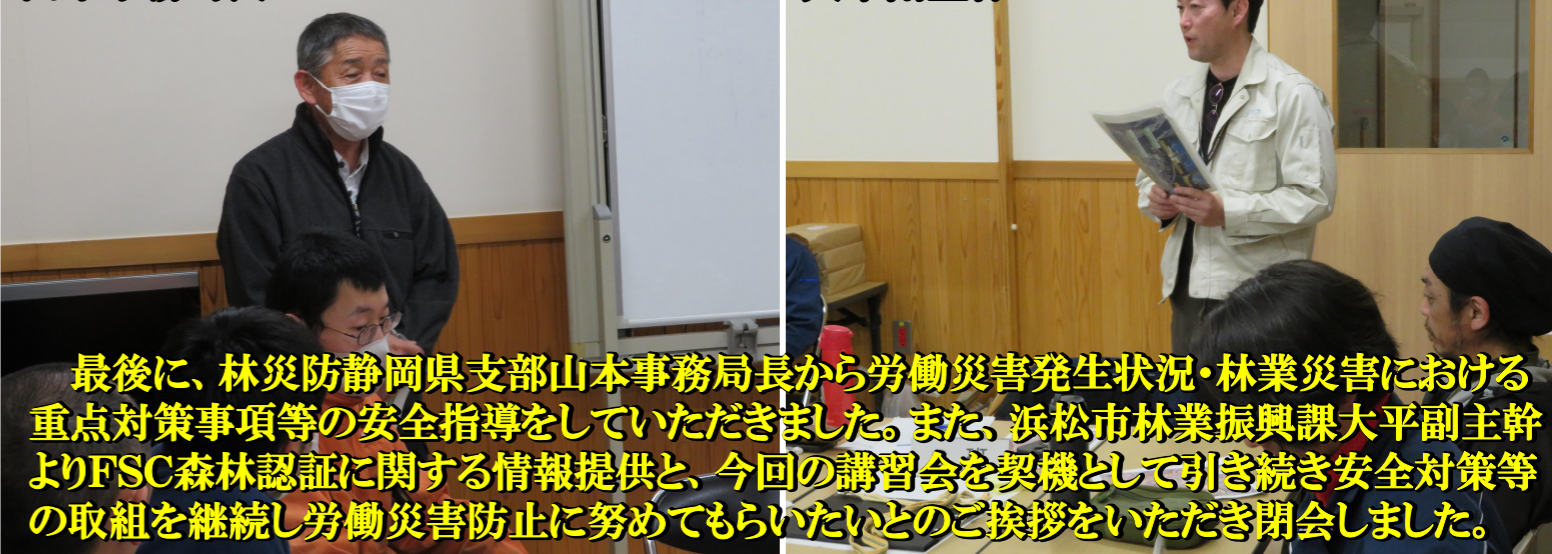


意見交換等 (他班へリスク評価内容を説明し意見交換)



林災防静岡県支部
山本事務局長

浜松市林業振興課
大平副主幹



最後に、林災防静岡県支部山本事務局長から労働災害発生状況・林業災害における重点対策事項等の安全指導をしていただきました。また、浜松市林業振興課大平副主幹よりFSC森林認証に関する情報提供と、今回の講習会を契機として引き続き安全対策等の取組を継続し労働災害防止に努めてもらいたいとのこと挨拶をいただき閉会しました。